

# 総務常任委員会

総務常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市税条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い軽自動車税の税率の見直し等を行うため、所要の改正をするものです。

### 改正条例の主な内容

1. 個人市民税の見直し
  - ① 肉用牛売却による事業所得に係る市民税課税の特例の延長（3年）など。
2. 法人市民税の見直し
  - ① 法人税法の一部改正を受けた地方税法改正に伴う関係条項の整理
  - ② 法人市民税法人税割の税率を次のように引き下げます。
    - 現行14・5%又は13・7%を2.6%下げて11・9%又は11・1%に引き下げます。
  3. 軽自動車税の引き上げ（主なもの）
    - ① 平成27年4月1日以後に初めて車両番号の指定を受ける三輪以上の軽自動車の税率を自家用乗用車

は1・5倍、その他は約1・25倍に引き上げます。

② 平成27年度分から、原動機付自転車、二輪の軽自動車、二輪の小型自動車、農耕作業用小型特殊自動車等の税率を約1・5倍に、その他の小型特殊自動車の税率を約1・25倍に引き上げ、2000円に満たない場合は、2000円に引き上げます。

③ グリーン化を進める観点から、初めて車両番号の指定を受けた月から14年を経過した月の属する年度以後の年度分の三輪以上の軽自動車の税率について、平成28年度分から概ね20%の重課を行います。

4. 固定資産税の見直し（主なもの）
  - ① 地域決定型地方税制特例措置の追加など。

**問** 軽自動車税の見直しについて、原動機付自転車の区分で、総排気量0・05ℓ以下とあるが、これは50CC以下とすることだと思いが、これはどういう車両をいうのか。

**答** 一般的に原付バイクと呼

んでいるものです。

**問** 法人市民税の税率引き下げで税収減はどの位か。

**答** 改正どおり2.6%下げると、1億1400万円程度の減収を見込んでいます。

## ◆白河市税特別措置条例の一部を改正する条例

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第20条の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴い、企業立地促進法に規定する基本計画に対する国の同意の適用期間が2年延長され、平成28年3月31日までとなります。

## ◆白河市東日本大震災による被災者に対する市税等の減免に関する条例の一部を改正する条例

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う国による避難指示等の対象地域から避難している被保険者に係る国民健康保険税及び介護保険料の減免対象年度を避難指示等の対象区分に応じ延長するため、所要の改正をするものです。

**問** 対象地域から避難している被保険者とはどのように理解すれば良いのか。

**答** 避難指示等の対象区域から本市に住所を移した方が本市の国民健康保険及び介護保険の被保険者となった場合、その税額及び保険料が免除になります。

## ◆白河地方広域市町村圏整備組合規約の変更について

白河地方広域市町村圏整備組合が共同処理事務に地方税の滞納整理を担当する部署を設置するために規定に基づく同組合の規約の変更に関する協議について規定により議会の議決を得ようとするものです。

**問** 広域圏に滞納整理を任せるとした場合委託なのか移管なのか全て権限委譲までなのか。

**答** 基本的には滞納整理できる権限も移管するが主体性は各自自治体を持つており、各市町村の判断により滞納事案を移管することになる。

滞納事案を移管後、徴収しきれなかった事案は年度末をもって各々の自治体に戻す様になる。

## 平成26年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億7839万1千円減額し歳入歳出予算の総額は43億5160万9千円となりました。

歳入については県支出金を増額し、国庫支出金や繰入金、市債などを減額補正し、歳出では総務費1375万9千円、商工費500万円を増額し、土木費2億4863万4千円、教育費4851万6千円を減額補正するものであります。付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



委員会審査風景

# 市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の審査経過と結果について報告します。

## 平成26年度 一般会計補正予算(第1号)

### ●産業部関係

**問** ふくしまDC県南推進協議会補助金の詳細について

**答** 同協議会に補助金を交付して実施するしらかわ新鮮野菜PR事業は、新白河駅から1時間圏内にある16のゴルフ場を観光資源として捉え、各ゴルフ場に年間平均で約2万人が訪れる県内外の利用者に地元野菜の安全・安心をアピールするために実施するものであり、夏野菜が回る7月から8月の2ヶ月程度を予定している。

16のゴルフ場のうち、7つのゴルフ場内において、ランチタイムの際利用者に、きゅうり、トマト、ブルーベリーなどの新鮮野菜をサラダバー的に試食していただくとともに、ゴルフ場による送迎で農産物直売所への立ち寄りを利用し、買物を誘導するものである。



委員会審査風景

### ●市民生活部関係

**問** 社会保障・税番号制度導入事業について根拠法令等とその内容について

**答** 平成25年5月24日に成立した、行政手続きにおける特定個人の識別するための番号の利用に関する法律による制度であり、国民全員に個人番号を割り振り、社会保障給付や納税情報等の迅速かつ適切な把握により、手続きの簡素化、行政の効率化、公平公正な社会の実現を図るため、国が進めているものである。

個人番号制は、複数の機関に存在する個人情報をもつ一人であるということの確認を行うための社会基盤であり、国民全員に個人番号を割振る制度である。同制度の導入に伴い、平成27年10月から個人番号の通知、平成28年1月からの個人番号の利用開始に向けて、住民基本台帳ネットワークの本人確認情報に個人番号を付番する作業などが生じるため、個人番号付番システムを構築するものである。

**問** 聖ヶ岩ふるさとの森整備事業の設計仕様について

**答** ビジターセンター本体工事の入札を、平成26年3月に実施したが、入札が不調となり、当初設計を変更して、再入札を5月15日に実施した。ボルダリングボード、デッキ設置、進入路や駐車場などの整備を当初設計から除いたため、これらの分を改めて、計上するものである。今回計上のボルダリングボード、デッキとも気候等の条件を考慮し、耐久性のある材質となっている。



ボルダリングボード



ビジターセンター完成イメージ



聖ヶ岩(大信地域)

**問** 同施設の本体の完成時期について

**答** 完成は本年11月を予定している。同施設の進入路となる、県道矢吹〜天栄線の落石防止工事が今年秋から始まり、冬期間は積雪により閉鎖となることから、施設のオープンセレモニーは来年4月頃となる見込みである。

付託された議案は、全会一致で、原案のとおり可決しました。

# 教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、後期高齢者支援金等課税額「14万円」を「16万円」に、介護納付金課税額「12万円」を「14万円」に改め、2割軽減の所得判定基準を「35万円」を「45万円」に、5割軽減の所得判定基準の被保険者数に納税義務者を加えるものです。

**問** 条例改正後の影響について

**答** 平成25年度と平成26年度の軽減対象世帯の推移については、医療分と後期高齢者分で51世帯、介護保険分で228世帯の増加を見込んでおり、軽減される保険税額については補填があるため影響ないと考えています。

◆中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う

## 関係条例の整理に関する条例

「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律」の法律名が平成26年10月1日より、「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律」に改正に伴い、白河市ひとり親家庭医療費の助成に關する条例、白河市重度心身障害者者医療費の給付に関する条例及び白河市営住宅条例の条項で引用している改正前の法律名を改正後の法律名に改正するものです。

**問** 本市における該当者数について

**答** 本市では2世帯の4名が該当している。

## ◆表郷公民館建設事業建築工事請負契約について

表郷公民館建設事業建築工事請負契約の締結をしようとするため、議会の議決を得ようとするものです。



表郷公民館完成予想イメージ

## 平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は9772万円を増加し、歳入歳出予算総額を6億3914万6千円とするものです。

## 平成26年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出補正総額は2億7839万1千円を減額し、歳入歳出予算総額を43億5160万9千円とするものです。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

## ■工事概要

場所	白河市表郷番沢字桜下地内
面積	4,862.18㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造・平屋建て
建築面積	1,495.60㎡
延床面積	1,327.59㎡
諸室概要	集会室 225.33㎡
	ステージ・控室(2室) 81.74㎡
	研修室(1) 102.06㎡
	研修室(2) 52.60㎡
	創作室 52.60㎡
	音楽室・前室 84.33㎡
	和室(2室) 68.04㎡
	トレーニング室 102.06㎡
	ロビー 91.93㎡
	ホール・廊下 186.36㎡
	その他、事務室、トイレ、倉庫等

## ◆復興と地域の経済効果向上を目的とした体育施設の民間への開放に関する陳情

本陳情は、原発事故の風評被害により提出者である福島県南ホテル連合会加盟の宿泊施設は、未だに集客が回復せず厳しい経営状況となっているため、首都圏をはじめとする体育系団体へ野球場利用の大会等や合宿の誘致を進めており、その大会や合宿利用者のために、優先的に体育施設を利用できるように、市に対して求めるものです。

各委員からは、「市では体育施設を十分に民間に開放しており、ルールに基づいて利用者の選定を公平に行っている」などの意見が出され、全会一致で不採択とすべきものと決しました。



# 建設水道常任委員会



委員会審査風景

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市道路標識に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

外国人旅行者も含めた道路利用者にわかりやすい案内標識とするため、施設等の表示に英語を用いることなどを内容とした、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部改正がなされました。

この改正に準じ、市の「道路の通称名」の案内標識の基準の例示についても英語を用いたものに改正するものです。

## ◆小峰城跡（竹之丸）ほか石垣復旧工事請負契約について

東日本大震災により被災した国史跡小峰城跡（竹之丸）ほかの石垣復旧工事請負契約を締結するものです。

当該工事において、発注する施工箇所は、竹之丸、清水門、帯曲輪門の3箇所です。

施工内容は、崩落石材（仮置中）の積み直しが主であります。これに影響する範囲部の解体も併せて行い、一体で積み直します。

## ◆小峰城跡（1工区）石垣復旧工事請負契約の一部変更について

平成25年9月24日議決の議案第102号小峰城跡（1工区）石垣復旧工事請負契約中、契約金額を変更するものです。

## 問 契約金額を変更するに至った経緯について

答 当初、崩落して再利用可能な石材を極力使用する予定でした。しかしながら、現場において石材を実際に積み上げたところ、ひび割れ等で使用不能なものが増え、25・8平方メートル分の新たな石材を確保する必要が生じたことから、契約金額を増額するこ

とになりました。

## 問 新たな石材の調達方法について

答 新たな石材は、白河石材事業協同組合から仕入れており、これらの石材は、大信地域及び西郷村から切り出したものです。

## ◆葉ノ木平災害公営住宅建設事業建築工事請負契約について

東日本大震災により住宅を失い、自立再建が困難な被災者の居住を確保するため、葉ノ木平地内に復興交付金事業として災害公営住宅を整備するため、建築工事請負契約を締結するものです。



葉ノ木平現況写真



災害公営住宅完成予想模型

### ■工事概要

場 所	白河市葉ノ木平 地内
敷地面積	2,300.63㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造・地上2階建
計画戸数	2棟16戸（1号棟8戸 2号棟8戸） 2DK（8戸） 3DK（8戸）
延床面積	951.10㎡
付帯施設	駐車場（26台） 駐輪場（2箇所） 物置 ごみ置場

## 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出補正総額は6785万円減額となり、歳入歳出予算総額は22億1183万4千円となりました。

主な内容は、下水道管路工事費について、平成25年度の国の補正予算に伴い、3月補正予算に計上したことから、事業費の一部を減額するものです。

## 平成26年度一般会計補正予算（第1号）

主な内容は、単独街路事業において、平成26年3月に供用開始された都市計画道路白河駅白坂線（小峰通り）の歩道上にベンチ6基を設置するための経費です。

また、道路新設改良事業や公営住宅ストック改善事業等の工事請負費について、平成25年度の国の補正予算に伴い、3月補正予算に計上したことから、事業費の一部を減額するものです。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決、または同意しました。